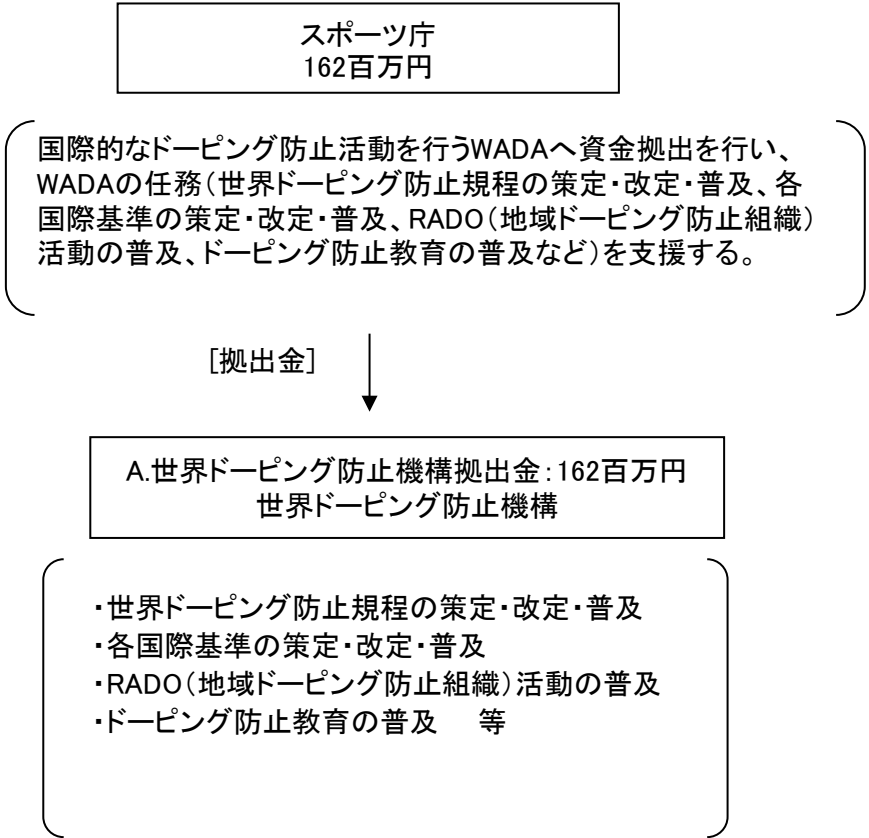


	令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)		
事業名	世界ドーピング防止機構拠出金			担当部局庁	スポーツ庁	作成責任者	
事業開始年度	平成14年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付	参事官(国際担当) 八木 和広	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第14条・15条 スポーツ基本法第2条・29条 スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する法律 第16条			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-2 東京大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上体制の構築						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-34.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	ドーピングは、競技者の健康を損ね、スポーツの価値を脅かすなどの問題があり、世界的規模での幅広い防止活動が求められている。我が国は、世界ドーピング防止機構(WADA)のアジア地域を代表する理事国・執行委員国として、国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務を支援することによって、クリーンでフェアなスポーツの国際的な普及・発展を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	WADAに対し継続的に拠出金を提供することは、世界的なアンチ・ドーピング活動の推進に資するものであり、かつ日本のプレゼンスを維持・向上させることにもつながるため、引き続き、WADAの任務の遂行を支援していく。						
事業概要 (5行程度以内)	国際的なドーピング防止活動を行うWADAへ資金拠出を行い、WADAの任務(世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO(地域ドーピング防止組織)活動の普及・促進、ドーピング防止教育の普及・促進など)を支援する。						
事業概要URL	-						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	165	162	162	206	206
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	165	162	162	206	206	
	執行額(G)		165	162	162		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	100%	100%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	世界ドーピング防止機構拠出金	206	206			
		その他	0				
	計(A)		206	206			

活動内容① (アクティビティ)		WADAへの拠出金の提供を通じた、世界的なアンチ・ドーピング活動への貢献									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		世界的なアンチ・ドーピングの取組に貢献するため、WADAから我が国に求められている分担金額に応じた拠出金を提供する。	我が国に求められている分担金額に応じたWADAへの資金拠出	活動実績	US\$	1,502,800	1,502,800	1,502,800	1,502,800	-	
				当初見込み	US\$	1,502,800	1,502,800	1,502,800	1,502,800	1,502,800	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	拠出金の提供を通じて、WADAによる世界的なアンチ・ドーピング活動を支援するとともに、WADAの意思決定機関である理事会・執行委員会へ参画し、国際的なアンチ・ドーピング議論における我が国のプレゼンスを堅持する。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		WADAの理事・執行委員として会議に出席し、WADAの意思決定に参画する。	WADA理事会・執行委員会出席回数	成果実績	回	4	5	5	-		
				目標値	回	5	5	5	4		
				達成度	%	80	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		スポーツ庁調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	WADA理事会・執行委員会への参画に加え、アンチ・ドーピング各専門領域における日本人の活躍機会の創出を通じて、世界的なアンチ・ドーピング活動での我が国の貢献度を高めることが重要である。そのため、WADAの専門委員会をはじめ他のWADA主要構成組織における日本人の活躍を促進させることが有効である。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 12 年度		
		世界的なアンチ・ドーピング活動において我が国として幅広く貢献している。	理事会・執行委員会を含むWADA主要構成組織における日本人メンバー数	成果実績	人	-	-	5	-		
				目標値	人	-	-	3	3		
				達成度	%	-	-	166.7	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		WADAウェブサイト https://www.wada-ama.org/en/who-we-are/governance									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	世界ドーピング防止機構拠出金	世界ドーピング防止規程の策定・改定・普及、各国際基準の策定・改定・普及、RADO (地域ドーピング防止組織)活動の普及、ドーピング防止教育の普及等	162			
	計		162	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	世界ドーピング防止機構	-	国際的なアンチ・ドーピング活動の推進	162	その他	-	-	-